

いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会いなみ野病院
住 所 加古川市平岡町土山字川池423-2
TEL 078-941-1730
FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
メールアドレス inamino@senreikai.org

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院 I M 広報委員会

指導者とは

いなみ野病院 院長 長谷川 和男

今回は全国高校野球の「監督Ⅱ指導者」についてのお話を紹介致します。

今年の大会で、春夏連覇の偉業を成し遂げた沖縄興南高校の活躍は、まだ私たちの記憶に新しいところでもあります。ある新聞に同チームの次のような言葉が掲載されていました。

「野球のスコアボードは9回で終わるが、人生のスコアボードはこれから続く。」

これは監督の言葉です。そしてある選手は、「大舞台になるほど、私生活が結果にでる」と教えられ、何一つ手を抜かずに生活し、「人生のスコアボードに記録を残そう」と頑張つ

たそうです。そして見事に、新聞に掲載されたごとく高校野球の記録と人々の記憶に残りました。

高校野球の選手に限らず、人が大きく成長していくためには、優れた「指導者」に恵まれることが大切で



特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します

あります。皆さん方にとっても、これまで的人生の中で「あの人に出会わなければ、今の自分はなかった」と、思えるほどの方がきつというはずです。私にも何人かいますので――。年齢を重ねるとそういう方は多くなりです。

ところで、皆さんはその方から教えられたことを今でも覚えていますか。もしまだ覚えていいたら、その教えを日々の生活の中で実践していますか。感化されたことを仕事や家庭に生かしていただきたいと思えます。また次のような話もあります。

- * 夢のある者には目標がある。
- * 目標のある者には計画がある。
- * 計画のある者には行動がある。
- * 行動のある者には実績がある。
- * 実績のある者には反省がある。
- * 反省のある者には進歩がある。
- * 進歩のある者には夢がある。

ある評論家は、その著書『上、三年にして下を知り、下、三日にして上を知る』で、「上司は部下を知るのに三年かかるが、部下が上司を見定めるのは三日あれば十分」と書いておられます。経営者や職場で部下を「指導」する立場の人にとっては、とても気になる言葉です。さらに彼はリーダーに相応しい器量として、以下のような心の姿勢が必要であると書いておられます。

部下をどう指導するのか、その方法は様々です。しかしリーダーとしてひっぱって行くためには、まず上司が夢や目標を持つことが重要なのです。

すばらしい指導者に出会えた人は幸せであり、また指導者たる者は夢を語るリーダーになることが必要だということです。

「春麗の会」

レクリエーション委員会

平成23年4月13日(水)、春麗の会を開催しました。患者様99名、ご家族6名の参加となりました。当日は少し風が強かったのですが、天気も良く桜も満開で、花見日和となりました。

く終わってしまいましたが、少しの時間でも楽しんでいただけたのではないかと思います。今後も、様々なイベントを計画しています。少しでもたくさんのお患者様に楽しんでいただきたいと思いますので、多数のご参加、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

催し物として、ボランティアのカクテル一座様による花傘踊り、マジックなどを披露していただきました。

風が強いせいもあってか、マジックで飛び出した花がこちらに流されるといふハプニングもありましたが、それでも患者様から笑顔や笑い声があり、喜んでいただけましたと思います。

今回は内容が短かったので、時間が予定より早



2分間スピーチ

6月

本館1階 西本 愛香

私は、以前入院したので、その時の事をお話します。

自分が患者になり、その病院の看護師さんと毎日かわっていくうちに、自分の仕事の事、患者さんの気持ちを考えるようになりました。

入院してから1週間ぐらい絶飲食だったので、仕方ないといえ食べられないってつらいなあという思いから始まり、寝返りができず体中が痛かったり、動きたくても動けず、取りたい物も取れなかったり、寝つらい日があったり、熱が出たり、何日もお風呂に入れなかったりと、ちょっとした事でも自分でできない事が苦痛でした。でも、そんな時に看護師さんが声をかけてくれて、なんでも言いやすくなって、

それだけで気持ちが少し楽になりました。

いろんな事を考えながら入院生活をしている中で、看護師さんの存在はとて大きく、あいさつ・やさしさ・笑顔・声かけ、あたりまえでなにげない事で少し元気になったり、安心感をもてたりするんだと改めて思いました。

この気持ちを忘れないで、少しずつ自分を成長させ、こうと思えます。

7月

本館2階 武田 仁美

『接遇』とは何なのか調べてみると「おもてなし」だそうなんです。

お店などでの「おもてなし」というと、だいたい理想像はつきませんが、病院での「おもてなし」となると、ちょっと解りづらく思います。

あいさつ・笑顔・言葉遣い・態度・身だしなみは他の職種でも同じですが、病院で対応するのは患者様やそのご家族様なので、それだけではないかと思えます。

以前私の父が入院したことがあり、初めて患者の家族という立場になって感じたことがあります。

それは自分で思っていた以上に、忙しくしているスタッフに声を掛けづらいという事です。

お世話になっている立場であり、忙しくしている足を止めてまで声を掛けるのは遠慮があり、余程の事がない限りこちらからは声を掛けられませんでした。

そんな中、ある看護師さんは他のスタッフとは違っていました。

忙しい時でもゆっくりと穏やかな口調で必ず先に声を掛けて、挨拶だけで終わるのではなく、「入院生活に慣れましたか?」「何か不安に思っている事はないですか?」など、一言・二言何か声を掛けてくれました。

本当に他愛もない事でしたが、急な入院で不安の大きかった父や私にはとても心強く感じられ、徐々に信

頼関係ができていったように思えます。

そういう「気遣い」が病院での「おもてなし」につながるのではないかと思います。

忙しい時には余裕がなく、忙しがちですが、どんな時でも心に余裕を持って、相手を気遣える「おもてなし」ができるように心がけたいと思います。

8月

本館3階 脇本 慎司

今日は僕が母から聞いた言葉についてお話します。

僕が勤務を始めてまだ日が浅い時に交通事故にあいました。一瞬気を失って近所の人達がタオルで血をふいたり、冷たいタオルをあてて救急車で病院に運ばれました。

休ませてもらっているあいだ命の事を考えました。「生きていて良かった!」と本当にそう思いました。

名前も知らない人に助けられ、家族も自分の事の様に心配してくれました。あの頃、仕事についても悩んでいて、何も解らない僕が

続けられるのだろうかと思っていた事も、とても落ち込む毎日が続いていた。

ケガも落ち着いた時、思いきって母に今の僕の心の内を話してみました。母はだまって僕の話聞いてくれました。そして、「本当に一日一日頑張っていたんだね」とほめてくれて、その後、母がこのように話してくれました。「一日一生って

いう言葉が母さんをいつも助けてくれていたんだよ。事故がおきて死ぬ事があったら、慎司の一生は18才で終わっていたでしょ、きっといろいろな事やいろんな世界も見なかったと思う。でも今ここに命をもって生きている事は何にでも挑戦できる。命があるのはすごい事なんだよ」と。

僕は考えました。失敗しても叱られても、僕は一生懸命、一日一日仕事をやる中で、先輩の言葉や病院の皆さん、友人や家族に助けられながら成長していつていると思えました。

これからも一日一生を思いつつ、患者さんの事を思いながら自分の命、人生を歩んでいこうと思えました。

七夕会

— レクリエーション委員会 —

平成23年7月8日(金)、毎年恒例の七夕会を開催致しました。患者様107名、ご家族6名の方々に参加していただきました。

午前の部ではカトリア様(ボランティア)の大正琴を、事務局とレクリエーション委員会では童謡を歌いました。そして、午前・午後の部共にリハビリテーション課による「世界遺産めぐり」を披露しました。童謡を歌った時は患者様も一緒に歌っていただき、とてもうれしかったです。「世界遺産めぐり」ではプロジェクターによる映像やなつかしい歌を耳にして涙する患者様もおられ、大変感動されていました。

午後の部では鼓銭会様(ボランティア)による唄や三味線・太鼓を披露していただきました。途中に三味線の弦が切れるハプニングもありましたが、問題なく終了する事が出来ました。最後に患者様が一名飛び入り参加で炭坑節を一緒に踊り、会場が一気に盛りあがりました。

今回107名というたくさんの患者様に参加していただき、ありがとうございました。

これからも皆様のご協力よろしく申し上げます。



●●● 編集後記 ●●●

東日本大震災、台風12号と未曾有の大災害が続いており、改めて自然の驚異に対しては非常に無力なものであると実感致しました。皆様方も常日頃からの天災に対しての備えを改めて見直してみてください。

永年勤続表彰

6月1日にいなみ野病院 永年勤続表彰が行われ、永年にわたり当院において各業務に貢献された方々が表彰されました。

- ◆20年勤続表彰 5名
- ◆15年勤続表彰 8名
- ◆10年勤続表彰 10名
- ◆5年勤続表彰 14名

合計37名の方々が表彰されました。長年の勤務ご苦労様です。常日頃の勤務は大変だと思いますが、今後とも後に続く後輩達のよい手本となりますようよろしくをお願いします。



いなみ野病院 概要

診療科目 内科、リハビリテーション科
 病床種別 療養病床 290床
 (医療保険 1病棟 50床)
 (介護保険 4病棟 240床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

- 療養病棟入院基本料 1
- 療養病棟療養環境加算 3
- 脳血管疾患等リハビリテーション(I)
- 運動器リハビリテーション(I)
- 入院時食事療養(I) ・栄養管理実施加算
- 薬剤管理指導料

介護保険

- 病院療養型 I型
- 夜間勤務条件基準 減算型
- 職員の欠員による減算の状況 なし
- ユニットケア体制 対応不可
- 療養環境基準 基準型
- 医師の配置基準 基準
- 栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制
- 身体拘束廃止取組の有無 あり
- 特定診療費項目 薬剤管理指導
- リハビリテーション提供体制
理学療法 I ・作業療法 ・言語聴覚療法 ・その他